

# 大 学 生 活 紹 介

たくさんの機会を運んでくれます。

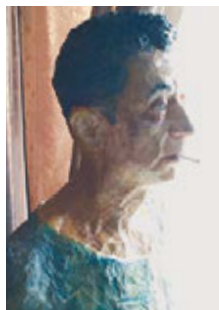
## 大塚 里音さん

愛知県立芸術大学 彫刻専攻3年  
2014-2015年度 基礎高1・2年専科／2016年度 彫刻専科／2017年度 彫刻本科  
桑名高校出身



こんにちは。私は現在、愛知県立芸術大学美術学部彫刻専攻3年に在籍しています。この大学のいいところは、建物内のどこにいても光も空気も気持ち良くて、生徒一人に対して確保できる敷地スペースがありえないくらい広いことです。イノシシやサギも生息するエリアで一人になることもできます。それが嫌になれば名古屋市内で遊ぶこともできます。でもこの心身ともに自由な環境に馴染みすぎて社会に戻れ

なくなったら・・・？そんな一抹の不安が芽生えたら、愛知県立芸術大学の豊富な図書や設備、親身な教授たちに頼りながら制作をしましょう。また、たびたび外部の講師を招いて行われる講義や近隣の大型商業施設への展示などもあり、いろんな人たちがいろんな場所とつながってたくさんの機会を運んでくれます。大学生の自由さを自分でマネジメントして、目標に近づこう！



1



2



3



4

1. LARK
2. 立つナイフ
3. 視線X
4. イルカ

本当に行きたい大学をめざしてください！

## 池田 杏莉さん

東京芸術大学 大学院美術研究科彫刻専攻修士2年 在籍  
愛知県立芸術大学 彫刻専攻卒業  
2011年度 基礎中学専科／2012年度 基礎高1・2年専科／  
2013年度 基礎高1・2年専科、彫刻日曜専科／2014年度 彫刻専科  
東邦高校出身



僕は、学部四年間を愛知県立芸術大学で過ごし、現在東京芸術大学の大学院で勉強しています。学部時代は、自分がどんな人間なのかかわからず、朝から晩までずっとアトリエに籠って、制作をしていました。愛知芸大は、人数が少ない代わりにアトリエを自由に使えたので、手を動かすことで自分が無意識につくり出す形や、美意識を養うことに集中することができました。そして、大学院ではさらに大きな視野、物事の捉え方を学び、深い思考ができるように東京芸大の大学院に入

学しました。大学院では、作品制作をはじめ、他専攻との共同授業や、ワークショップを通して、多くの学生や作家と出会うことで彫刻の枠だけにとどまらず、多様な表現、捉え方を考える日々を過ごしています。なので、愛知芸大では「つくる喜び」、東京芸大では「考える喜び」を知ることができました。大学は自分がそこで何をしたいのか、何を学びたいのかでいくらかでも可能性が広がる場所です。皆さんが本当に行きたい大学をめざして頑張ってください！



1



2



3

1. ないようであるもの
2. anima / 私はわたしに会いたい
3. anima / 拝啓、私よりあなたへ

# OB・OGからのメッセージ

## 自分の好きなものを好きなようにつくろう

**花房 さくら**さん  
彫刻家

愛知県立芸術大学 大学院美術研究科博士前期課程彫刻領域修士  
愛知県立芸術大学 彫刻専攻卒業  
2008-2009年度 彫刻本科  
八戸高校出身



1

河合塾に飛び込んだのは社会人5年目を迎えようとしているときでした。

突然「美術系の大学に行こう!」と決意し、仕事を辞めて大学進学のために船を切ったのです。高校も普通科だった私にとって、まさにゼロからのスタートでした。

幼い頃から立体物、特にクレイアニメが好きで、いつか自分の手でワクワクするものをつくれるようになりたいと漠然と考えていました。その「いつか」は自分が行動しなければ、いつまで経っても「いつか」のままです。ある日ようやくそのことに気がついて動き出しました。

周囲と比べるとだいぶ遅いスタートです。へたなものできないのも全部受け入れる覚悟で臨もうと心に決めていましたが、本科の皆はデッサンも粘土も段違いにうまくて心折れそうな毎日でした。それでも2年間を河合塾で学び、やっとのことで目標だった美術系の大学に進学することができました。

つくること自体は好きでしたが、大学在学中もこれから自分がどこに向かうのか、芸術ってなに?アートとは?など悩みに悩みまわりました。最終的に、はっきりした答えは見いだせなくても「自分の好きなものを好きなようにつくろう」と気楽に考えるようになりました。

そして、現在は彫刻家として活動しています。

実のところ美術の世界に入ったばかりの頃は、自分が彫刻家になる未来をまったく予想していませんでした。好きなことを追求するうちに今の生活にたどり着いたような感じです。しかし作家になってからも自分との戦いはずっと続いています。いま使える武器の大半は河合塾で身につけたものであり、その中でも彫刻科の先生に掛けられた言葉は大きなウェイトを占めています。当時は意味がわからなかったけれど、作家になった今こそ心に沁みるようになってきました。

つくることが好きな人なら、まずは一歩踏み出してみるのもいいかもしれません。手を動かし続けられれば、どこかに道が繋がっていくと思っています。



2



3

1. high-seven
2. イノセント・ランドセル
3. どうぞの像